

Committee in 1997, 1997, 6, Florence.

- 7) 櫻川信男：止血制御機構の重要性（招聘講演）。第6回中国血栓止血学会，1997，9，烟台（中国）。
- 8) 櫻川信男：血液凝固機序（ゼミナール）。第6回中国血栓止血学会，1997，9，烟台（中国）。
- 9) 津澤豊一，新谷憲治，小澤哲夫，櫻川信男：樹立食道癌細胞における線溶関連因子の発現と浸潤能。第20回日本血栓止血学会，1997，9，金沢市。
- 10) 和田英夫，櫻川信男：DIC発症直前の止血マーカーの変動。第11回立山シンポジウム・イン・札幌，1997，10，札幌市。
- 11) 小澤哲夫，櫻川信男：先天性アンチトロンピン欠損症の遺伝子診断。第11回立山シンポジウム・イン・札幌，1997，10，札幌市。
- 12) 小澤哲夫，新谷憲治，櫻川信男：先天性血液凝固異常症の遺伝子診断。第37回日本臨床化学学会年会，1997，11，熊本市。

◆ その他

- 1) 櫻川信男：櫻友会と私。櫻友会（富山血友病患者「友の会」）の一年，平成8年度HIV感染者等保健福祉相談推進研究事業，1997，2。
- 2) 櫻川信男：Subcommittee on Control of Anticoagulant，1996年国際血栓止血学会SSC報告書，70-75，1997，3。
- 3) 櫻川信男：Subcommittee on DIC，1996年国際血栓止血学会SSC報告書，96-103，1997，3。
- 4) 櫻川信男：血栓形成のメカニズム：分子生物学的解析。Medical Academy News 第649号，1997，5。
- 5) 櫻川信男：富山医科薬科大学附属病院・HIV院内感染予防対策マニュアル，富山医科薬科大学HIV感染症診療看護ネットワーク，1997，9。
- 6) 新谷憲治：症例ノート，成人に発生したビタミンK依存性血液凝固因子減少症，日常診療と血液7：232-235，1997。

和 漢 診 療 学

教 授	寺 澤 捷 年
助 教	伊 藤 隆
講 師	嶋 田 豊
助 手	喜 多 敏 明
助 手	柴 原 直 利
助 手(前)	新 谷 卓 弘
技 官(前)	田 中 宣 充

◆ 著 書

- 1) 寺澤捷年：漢方における証の概念。「漢方薬理学」高木敬次郎監修，木村正康編集，69-74，南山堂，東京，1997。

◆ 原 著

- 1) Shibahara N., Matsuda H., Umeno K., Shimada Y., Itoh T. and Terasawa K. : The responses of skin blood flow, mean arterial pressure and R-R interval induced by cold stimulation with cold wind and ice water. *Journal of the Autonomic Nervous System* 61:109-115,1996. (前回未掲載)
- 2) Terasawa K., Shimada Y., Kita T., Yamamoto T., Tosa H., Tanaka N., Saito E., Kanaki E., Goto S., Mizushima N., Fujioka M., Takase S., Seki H., Kimura I., Ogata T., Nakamura S., Araki G., Maruyama I., Maruyama Y. and Takaori S. : Choto-san in the treatment of vascular dementia: a double-blind, placebo-controlled study. *Rhythmic medicine* 4: 15-22,1997.
- 3) Sakai S., Ochiai H., Nakajima K. and Terasawa K. : Inhibitory effect of ferulic acid on macrophage inflammatory protein-2 production in a murine macrophage cell line, raw 264.7. *Cytokine* 9 : 242-248,1997.
- 4) Goto H., Tanaka N., Tanigawa K., Shimada Y., Itoh T. and Terasawa K. : Endothelium-dependent vasodilator effect of extract prepared from the seeds of areca catechu on isolated rat aorta. *Phytotherapy Research* 11 : 457-459,1997.
- 5) Sakai S., Ochiai H., Kawamata H., Kogure T., Shimada Y., Nakajima K. and Terasawa K. : Contribution of tumor necrosis factor α and interleukin-1 on the production of macrophage inflammatory protein-2 α in

- response to respiratory syncytial virus infection in a murine macrophage cell line, RAW264.7. *Journal of Medical Virology* 53 : 145-149, 1997.
- 6) Nishijo H., Kita T., Tamura R., Uwano T., Terasawa K. and Ono T.: Septal neuronal responses related to septal representation in monkeys. *Hippocampus* 7 : 460-464, 1997.
 - 7) Nishijo H., Kita T., Tamura R., Eifuku S., Terasawa K. and Ono T. : Motivation-related neuronal activity in the object discrimination task in monkey septal nuclei. *Hippocampus* 7 : 536-548, 1997.
 - 8) Itoh T., Shibahara N., Mantani N., Tahara E., Shimada Y. and Terasawa K. : Effect of Kampo treatment on chronic viral hepatitis on the basis of traditional diagnosis. *J. Trad. Med.* 14 : 204-210 , 1997.
 - 9) 福田正治, 嶋田 豊, 高間静子, 伊藤 隆, 寺澤捷年 : 和漢診療科受診者の病院選択性と和漢診療に対する認識. *日本東洋医学雑誌* 47 : 277-282, 1996. (前回未掲載)
 - 10) 高橋宏三, 松田治己, 喜多敏明, 伊藤 隆, 寺澤捷年 : 慢性関節リウマチと瘀血との関連性について. *和漢医薬学雑誌* 13 : 432-433, 1996. (前回未掲載)
 - 11) 谷川聖明, 後藤博三, 田中宣充, 片岡照恵, 伊藤 隆, 寺澤捷年 : 桂皮の内皮依存性血管弛緩作用. *和漢医薬学雑誌* 13 : 462-463, 1996. (前回未掲載)
 - 12) 後藤博三, 谷川聖明, 田中宣充, 片岡照恵, 伊藤 隆, 寺澤捷年 : 檳榔子の内皮依存性血管弛緩作用. *和漢医薬学雑誌* 13 : 464-465, 1996. (前回未掲載)
 - 13) 奥田忠行, 桜川信男, 梅野克身, 柴原直利 : 心拍変動と呼吸回数および分時換気量の関係—最大エントロピー法によるRRインターバルのスペクトル解析—. *医学検査* 46 : 1356-1359, 1997.
 - 14) 小暮敏明, 酒井伸也, 新谷卓弘, 伊藤 隆, 寺澤捷年 : 慢性関節リウマチ患者における活性化リンパ球可溶性膜抗原の意義. *中部リウマチ* 28 : 24-25, 1997.
 - 15) 曹基湖, 姜秉宗, 寺澤捷年, 後藤博三, 金永錫, 襄亨燮, 李京燮 : 日本東洋医学の氣血水に関する考察. *大韓韓方内科学會誌* 18 : 207-217, 1997.
 - 16) 曹基湖, 朴性植, 寺澤捷年, 嶋田 豊, 李源哲 : 日本韓方医学の體質医学と《一貫堂医学》に関する考察. *J. of Const. Med.* 9 : 339-352, 1997.
 - 17) 喜多敏明, 伊藤 隆, 嶋田 豊, 新谷卓弘, 寺澤捷年 : 不定愁訴に対する加味逍遙散の作用. *日本東洋医学雑誌* 48 : 214-224, 1997.
 - 18) 後藤博三, 喜多敏明, 新谷卓弘, 嶋田 豊, 寺澤捷年 : 梔子剤の適応病態に関する一考察. *日本東洋医学雑誌* 48 : 225-232, 1997.
- ◆ 症例報告
- 1) Kogure T., Fujinaga H., Nozaki K., Sakai S., Itoh T. and Terasawa K. : Systemic lupus erythematosus complicated by disseminated intravascular coagulation : The role of serum soluble cell surface markers. *Clinical and Experimental Rheumatology* 15: 671-675, 1997.
 - 2) 後藤博三, 佐藤伸彦, 関矢信康, 伊藤 隆, 寺澤捷年 : 痲症方が奏効した下肢脱力の3例. *日本東洋医学雑誌* 47 : 609-615, 1997.
 - 3) 引網宏彰, 小暮敏明, 喜多敏明, 嶋田 豊, 寺澤捷年 : 全身性エリテマトーデスの難治性血小板減少症に十全大補湯が奏効した一例. *日本東洋医学雑誌* 48 : 327-333, 1997.
 - 4) 田原英一, 三猪忠道, 嶋田 豊, 伊藤 隆, 寺澤捷年 : 漢方治療が有効であったバセドウ病の2症例. *日本東洋医学雑誌* 48 : 341-348, 1997.
 - 5) 小暮敏明, 渡辺実千雄, 伊藤 隆, 嶋田 豊, 寺澤捷年 : 原発性シェーグレン症候群に対する温経湯の応用. *日本東洋医学雑誌* 48 : 349-355, 1997.
- ◆ 総 説
- 1) 伊藤 隆, 三猪忠道, 嶋田 豊, 島田多佳志, 佐藤 弘 : 高齢者医療における腎虚証の意義. シンポジウム「長寿社会と東洋医学」. *日本東洋医学雑誌* 47 : 532-538, 1997.
 - 2) 喜多敏明 : 老人性痴呆と漢方. 特集「高齢社会と東洋医学」. *MEDICO* 28 : 5-8, 1997.
 - 3) 引網宏彰 : 瘀血と漢方. 特集「高齢社会と東洋医学」. *MEDICO* 28 : 9-12, 1997.
 - 4) 寺澤捷年 : 漢方医学—過去・現在・未来—. *日本東洋医学雑誌* 48 : 163-176, 1997.
 - 5) 新谷卓弘, 寺澤捷年 : 漢方薬と水電解質. *臨床成人病* 27 : 573-582, 1997.
 - 6) 寺澤捷年 : 漢方製剤の再評価—その経過と結果・方法をめぐる議論の実際. *漢方の臨床* 44 : 442-448, 1997.

- 7) 寺澤捷年：和漢診療の現在・未来. 看護管理 7 : 909-912, 1997.
- 8) 小暮敏明, 寺澤捷年：RAの薬物治療—漢方薬—。RA&セラピー 3 : 28-36, 1997.
- 9) 喜多敏明, 寺澤捷年：臨床現場での漢方薬評価—煎じ薬—。特集「漢方薬の適正使用」。月刊薬事 39 : 2231-2234, 1997.
- 10) 柴原直利：アレルギー性疾患に対する和漢薬治療。第24回千葉東洋医学シンポジウム「アレルギーと漢方, 現代医学と東洋医学の融合をめざして」。九段舎 : 47-54, 1997.
- 11) 後藤博三：漢方の診断法。特集「女性と漢方」。産婦人科治療 75 : 496-501, 1997.
- ◆ 学会報告
- 1) Terasawa K., Hikiami H. and Shimada Y.: RBC deformability in "Oketsu" syndrome and its relations to RBC viscoelasticity. 6th World Congress for Microcirculation 1996, 8, Munich, Germany. (前回未掲載)
- 2) Terasawa K., Hikiami H., Sekiya N., Kohta K. and Yang Q. : The effect of Toki-Syakyaku-San on skin microcirculation in cholesterol-fed rabbit. 第22回日本微小循環学会総会, 1997, 9, 東京.
- 3) Muraguchi A., Kitagawa T., Kogure T. and Kishi H. : Characterization and transcriptional regulation of human RAG genes. Kyoto T Cell Conference, 1997, 8, Kyoto.
- 4) Hikiami H. and Terasawa K. : Effects of Keishi-bukuryo-gan and Tohki-Syakuyaku-San on skin microcirculation in cholesterol-fed rabbit. International Workshop on Microcirculatory Aspect of Asian Traditional Medicine, 1997, 10, Bangkok, Thailand.
- 5) Terasawa K. : Modern scientific approach for "Oketsu" syndrome. '97 Proceeding of International Symposium on Blood Stasis, 1997, 12, Seoul.
- 6) Terasawa K. : Perspectives of traditional oriental medicine in japan : present and future. International Symposium of Asan Institute for Life Sciences, Perspectives of Traditional Medicine in China, Japan & Korea, 1997, 12, Seoul.
- 7) Shimada Y. : Evaluation of the efficacy kampo medicine : controlled studies of Choto-San on vascular dementia. International Symposium of Asan Institute for Life Sciences, Perspectives of Traditional Medicine in China, Japan & Korea, 1997, 12, Seoul.
- 8) 寺澤捷年：漢方治療からみた創傷治療。第3回ストーマリハビリテーション・フォーラム, 1997, 9, 東京.
- 9) 寺澤捷年：漢方製剤の臨床における有効性の検討。日本薬学会第117年会, 1997, 3, 東京.
- 10) 奥田忠行, 梅野克身, 柴原直利：疲労が自律神経活動におよぼす影響—深夜勤務の看護婦を対象として—。第46回日本臨床衛生学会総会, 1997, 4, 名古屋.
- 11) 寺澤捷年：アレルギーと漢方治療。(教育講演) 第9回日本アレルギー学会春季臨床大会, 1997, 5, 千葉.
- 12) 小暮敏明, 酒井伸也, 伊藤 隆, 寺澤捷年：慢性関節リウマチ患者での血清NOの推移に関する検討。第41回日本リウマチ学会総会, 1997, 5, 名古屋.
- 13) 寺澤捷年：瘀血病態の科学的解明。(平成8年度東洋医学会学術奨励賞受賞講演) 第48回日本東洋医学会学術総会, 1997, 5, 大阪.
- 14) 小暮敏明, 谷川聖明, 嶋田 豊, 伊藤 隆, 寺澤捷年：酸棗仁湯加黄耆麦門冬の奏効した二例。第48回日本東洋医学会学術総会, 1997, 5, 大阪.
- 15) 伊藤 隆, 柴原直利, 萬谷直樹, 田原英一, 寺澤捷年：慢性B型およびC型肝炎に対する和漢薬随証治療の効果。第48回日本東洋医学会学術総会, 1997, 5, 大阪.
- 16) 川俣博嗣, 田原英一, 谷川聖明, 小暮敏明, 後藤博三, 柴原直利, 嶋田 豊, 伊藤 隆, 寺澤捷年：麻黄連 紹赤小豆湯が有効であった自己免疫性肝炎に伴う皮膚痒症の3症例。第48回日本東洋医学会学術総会, 1997, 5, 大阪.
- 17) 引網宏彰, 関矢信康, 佐藤伸彦, 谷川聖明, 菊地一夫, 柴原直利, 伊藤 隆, 寺澤捷年：糖尿病合併症の発症・進展に対する和漢薬治療の効果の検討。第48回日本東洋医学会学術総会, 1997, 5, 大阪.
- 18) 谷川聖明, 佐藤伸彦, 喜多敏明, 新谷卓弘, 嶋田 豊, 寺澤捷年：繰り返す不安発作の鎮静に有効であった香蘇散の三例。第48回日本東洋医学会学術総会, 1997, 5, 大阪.
- 19) 喜多敏明, 伊藤 隆, 新谷卓弘, 柴原直利, 寺澤捷年：柴胡加竜骨牡蛎湯有効例の心理的側面—加味逍遙散との比較—。第48回日本東洋医学会学術総会, 1997, 5, 大阪.

- 20) 後藤博三, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 加減涼膈散の皮膚疾患への応用. 第48回日本東洋医学会学術総会, 1997, 5, 大阪.
- 21) 新谷卓弘, 三瀧忠道, 伊藤 隆, 嶋田 豊, 寺澤捷年: 九味檳榔湯有効例の検討. 第48回日本東洋医学会学術総会, 1997, 5, 大阪.
- 22) 柴原直利, 関矢信康, 佐藤伸彦, 菊地一夫, 喜多敏明, 嶋田 豊, 伊藤 隆, 寺澤捷年: トノメトリ式血圧計を用いた脈診の客観的検討. 第48回日本東洋医学会学術総会, 1997, 5, 大阪.
- 23) 曹基湖, 喜多敏明, 伊藤隆: 八綱の起源に関する考察—八綱と八卦の相関性—. 第48回日本東洋医学会学術総会, 1997, 5, 大阪.
- 24) 木村通郎, 後藤博三, 戸田静男, 八瀬善郎, 寺澤捷年: 高コレステロール摂食ラット脳動脈早期病変にみる当帰芍薬散・桂枝茯苓丸の効果—免疫組織学的検索—. 第48回日本東洋医学会学術総会, 1997, 5, 大阪.
- 25) 寺澤捷年: 駆瘀血剤の臨床(特別講演). 日本東洋医学会島根県部会, 1997, 7, 松江.
- 26) 寺澤捷年: 脳血管性痴呆に対する釣藤散の臨床効果 二重盲検比較臨床試験の成績(シンポジウム). 第11回天然薬物の開発と応用シンポジウム, 1997, 8, 東京.
- 27) 嶋田 豊: 脳血管性痴呆に対する釣藤散の臨床効果. 第14回和漢医薬学会大会, 1997, 8, 大阪.
- 28) 後藤博三, 嶋田 豊, 草野義弘, 楊 喬, 谷川聖明, 寺澤捷年: 芍薬含有タンニンの血管内皮におよぼす影響. 第14回和漢医薬学会大会, 1997, 8, 大阪.
- 29) 楊 喬, 引網宏彰, 嶋田 豊, 喜多敏明, 伊藤隆, 寺澤捷年: 循環系および血液レオロジーに対する釣藤散の効果—釣藤散急性負荷試験による検討—. 第14回和漢医薬学会大会, 1997, 8, 大阪.
- 30) 喜多敏明, 斎藤弘子, 嶋田 豊, 伊藤 隆, 村井繁夫, 伊藤忠信, 寺澤捷年: マウス脳内モノアミン関連物質に及ぼす加味逍遙散の影響. 第14回和漢医薬学会大会, 1997, 8, 大阪.
- 31) 谷川聖明, 後藤博三, 中村憲夫, 田中宣充, 服部征雄, 寺澤捷年: 桂皮含有タンニンにおける内皮依存性血管弛緩作用. 第14回和漢医薬学会大会, 1997, 8, 大阪.
- 32) 伊藤 隆, 田中宣充, 萬谷直樹, 喜多敏明, 橋場美香, 嶋田 豊, 寺澤捷年: 八味地黄丸のDHEASに対する影響. 第14回和漢医薬学会大会, 1997, 8, 大阪.
- 33) 関矢信康, 引網宏彰, 田中宣充, 後藤博三, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 桂枝茯苓丸の動脈硬化抑制作用の検討. 第14回和漢医薬学会大会, 1997, 8, 大阪.
- 34) 柴原直利, 菊地一夫, 喜多敏明, 嶋田 豊, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 瘀血病態と自律神経機能との関連性について. 第14回和漢医薬学会大会, 1997, 8, 大阪.
- 35) 引網宏彰, 後藤博三, 楊 喬, 関矢信康, 嶋田豊, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 瘀血病態における血漿NO代謝産物とトロポモジュリンの検討. 第14回和漢医薬学会大会, 1997, 8, 大阪.
- 36) 笠原裕司, 小山田隆, 近藤春樹, 梶井英治: 自己免疫性肝炎を合併したDAT陰性温式自己免疫性溶血性貧血. 日本臨床血液学会第130回例会, 1997, 9, 東京.
- 37) 森 昭憲, 新沢 敦, 佐藤伸彦, 喜多敏明, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 加味逍遙散が有効であった眩暈感を主とした身体表現性障害の一症例. 第23回日本東洋医学会北陸支部例会, 1997, 10, 福井.
- 38) 松浦 伸, 萬谷直樹, 川俣博嗣, 関矢信康, 小暮敏明, 嶋田 豊, 寺澤捷年: 加味逍遙散が有効であった慢性便秘の一例. 第23回日本東洋医学会北陸支部例会, 1997, 10, 福井.
- 39) 藤本 誠, 笠原裕司, 谷川聖明, 引網宏彰, 後藤博三, 柴原直利, 寺澤捷年: 口腔内・咽頭乾燥症状に滋陰至宝湯が奏効した一例. 第23回日本東洋医学会北陸支部例会, 1997, 10, 福井.
- 40) 藤永 洋, 竹内 健, 安藤聡一郎, 金田和彦, 高崎芳成, 橋本博史: 細胞周期関連抗原に対する自己抗体の検討. 日本免疫学会総会, 1997, 10, 札幌.
- 41) 小暮敏明, 北川太郎, 長田拓哉, 岸 裕幸, 村口 篤: ヒトRecombination Activating Gene (RAG)-2 遺伝子の転写制御の解析. 日本免疫学会総会, 1997, 10, 札幌.
- 42) 北川太郎, 小暮敏明, 長田拓哉, 岸 裕幸, 村口 篤: ヒトRAG (Recombination Activating Gene) の染色体構造と転写制御の解析. 日本免疫学会総会, 1997, 10, 札幌.
- 43) 寺澤捷年: 21世紀の医療と漢方(特別講演). 第17回漢方学術大会, 1997, 11, 東京.
- 44) 中川孝子, 横沢隆子, 劉 中武, 後藤博三, 中川 眸, 竹内茂彌, 服部征雄, 寺澤捷年: 食餌arginineが引き起こす生体反応. 第19回グアニジノ化合物研究会プログラム, 1997, 12, 横浜.

◆ その他

- 1) Terasawa K., Hikiami H. and Shimada Y.

- : RBC deformability in "oketsu" syndrome and its relations to RBC viscoelasticity. 6th World Congress for Microcirculation:555-559,1996.(前回未掲載)
- 2) Hikiami H., Terasawa K. : The effect of Toki-Syakuyaku-san on microcirculation in cholesterol-fed rabbits. 6th World Congress for Microcirculation : 371-374,1996. (前回未掲載)
 - 3) Terasawa K., Hikiami H., Sekiya N., Kohta K. and Qiao Yang : The effect of Toki-Syakuyaku-San on skin microcirculation in cholesterol-fed rabbit. Microcirculation annual 13 : 27-28,1997.
 - 4) 寺澤捷年：高齢化社会における漢方医学の役割。第1回名古屋大学漢方研究会，学術講演，1997，2，名古屋。
 - 5) 寺澤捷年：脳血管性痴呆に対する漢方薬「釣藤散」の臨床効果—二重盲検臨床比較試験による検討—。JFAH(Japan Foundation for Aging and Health) 13 : 3, 1997.
 - 6) 寺澤捷年：腹証奇覧解説，癥瘕円・胸腹の毒凝結着背。漢方医学講座 81 : 75-84, 1997.
 - 7) 寺澤捷年：慢性肝炎における漢方からみた小柴胡湯の適正な使い方。新薬と臨床 46 : 302-310, 1997.
 - 8) 磯野日出夫，加藤正夫，寺澤捷年，小関辰次：漢方とは何か(対談)。ぎふ元気人 5 : 4-7, 1997.
 - 9) 柴原直利，寺澤捷年：末梢循環障害—冷え性を中心に—。日医雑誌 118 : 629-632, 1997.
 - 10) 高橋宏三，寺澤捷年：当帰四逆加呉茱萸生姜湯を試みた回帰性リウマチの一例。カレントセラピー 15 : 143-145, 1997.
 - 11) 小暮敏明，寺澤捷年：酸棗仁湯加減が奏効した不眠を伴う慢性C型肝炎の一例。カレントセラピー 15 : 329-332, 1997.
 - 12) 島田多佳志，寺澤捷年：人参養栄湯(聖剤総録)が有効であった非定型抗酸菌症の一例。カレントセラピー 15 : 509-512, 1997.
 - 13) 喜多敏明，寺澤捷年：五虎湯が奏効した気管支喘息の一例。カレントセラピー 15 : 683-685, 1997.
 - 14) 小林 豊，寺澤捷年：乳児の「夜泣き」に対する甘麦大棗湯の使用経験。カレントセラピー 15 : 869-871, 1997.
 - 15) 塩谷雄二，寺澤捷年：安中散が有効であった胃痛の一例。カレントセラピー 15 : 1045-1047, 1997.
 - 16) 柴原直利，寺澤捷年：多発性硬化症に伴うシビレ感に桂枝茯苓丸料が奏効した一症例。カレントセラピー 15 : 1209-1212, 1997.
 - 17) 引網宏彰，寺澤捷年：高度の炎症反応が持続する非定型抗酸菌症患者に柴陥湯が奏効した一例。カレントセラピー 15 : 1403-1406, 1997.
 - 18) 平林多津司，寺澤捷年：七物降下湯が奏効した軽症高血圧症の一例。カレントセラピー 15 : 1589-1591, 1997.
 - 19) 伊藤隆，寺澤捷年：白虎加人参湯が奏効したアトピー性皮膚炎の一例。カレントセラピー 15 : 1779-1782, 1997.
 - 20) 長坂和彦，寺澤捷年：肘後方奔豚湯加味方と茯苓四逆湯の併用療法が奏効した奔豚気病の一例。カレントセラピー 15 : 2009-2011, 1997.
 - 21) 柴原直利，寺澤捷年：「しびれ」に対して烏薬順気散が有効であった一例。カレントセラピー 15 : 2217-2220, 1997.
 - 22) 寺澤捷年：冷え性と漢方 1 手足には熱を発生させる役目。読売新聞，1997，3，10.
 - 23) 寺澤捷年：冷え性と漢方 2 熱をつくることを盛んにする。読売新聞，1997，3，11.
 - 24) 寺澤捷年：冷え性と漢方 3 気持もゆったりと。読売新聞，1997，3，12.
 - 25) 寺澤捷年：冷え性と漢方 4 新陳代謝高め血流改善。読売新聞，1997，3，17.
 - 26) 寺澤捷年：冷え性と漢方 5 胃腸を丈夫にして細胞活性化。読売新聞，1997，3，18.
 - 27) 寺澤捷年：冷え性と漢方 6 若返りで熱産生高める薬。読売新聞，1997，3，19.
 - 28) 寺澤捷年：冷え性と漢方 7 よく嘔むことがとても大事。読売新聞，1997，3，24.
 - 29) 寺澤捷年：冷え性と漢方 8 根菜類で体をあたためる。読売新聞，1997，3，25.
 - 30) 寺澤捷年：東西医学の融合試みた先人の哲学。読売新聞，1997，4，14.
 - 31) 伊藤 隆：漢方と食養生 冷やすこと温めること 1。薬日新聞，1997，7，12.
 - 32) 伊藤 隆：漢方と食養生 冷やすこと温めること 2。薬日新聞，1997，7，26.
 - 33) 伊藤 隆：漢方と食養生 冷やすこと温めること 3。薬日新聞，1997，8，6.
 - 34) 伊藤 隆：漢方と食養生 冷やすこと温めること 4。薬日新聞，1997，8，13.
 - 35) 伊藤 隆：漢方と食養生 冷やすこと温めること 5。薬日新聞，1997，8，20.

- 36) 伊藤 隆：漢方と食養生 冷やすこと温めること6. 薬日新聞, 1997, 8, 27.
- 37) 伊藤 隆：漢方と食養生 冷やすこと温めること7. 薬日新聞, 1997, 9, 17.
- 38) 伊藤 隆：漢方と食養生 冷やすこと温めること8. 薬日新聞, 1997, 9, 24.
- 39) 伊藤 隆：漢方と食養生 冷やすこと温めること9. 薬日新聞, 1997, 10, 8.
- 40) 伊藤 隆：漢方と食養生 冷やすこと温めること10. 薬日新聞, 1997, 10, 15.
- 41) 伊藤 隆：漢方と食養生 冷やすこと温めること11. 薬日新聞, 1997, 10, 29.
- 42) 伊藤 隆：漢方と食養生 冷やすこと温めること12. 薬日新聞, 1997, 11, 5.
- 43) 伊藤 隆：漢方と食養生 冷やすこと温めること13. 薬日新聞, 1997, 11, 12.
- 44) 寺澤捷年：次世代医療をめざす漢方. 第6回東洋医学シンポジウム, シンポジウム, 1997, 1, 東京.
- 45) 喜多敏明：脳血管性痴呆に対する釣藤散の効果—二重盲試験による評価—. 平成8年度北陸地区漢方症例報告会, 1997, 3, 富山.
- 46) 喜多敏明：柴胡剤について. 新・実践漢方診療講座, 1997, 5, 富山.
- 47) 喜多敏明：桂枝湯類について. 新・実践漢方診療講座, 1997, 11, 富山.
- 48) 谷川聖明：和漢診療と泌尿器科疾患. 第18回上中越泌尿器科検討会, 特別講演, 1997, 5, 新潟.
- 49) 伊藤 隆：わかり易い傷寒論. 和漢薬研究所夏期セミナー「和漢薬に触れる」, 1997, 7, 大山町.
- 50) 寺澤捷年：東西医学の融合試みた先人の哲学. 和漢薬研究所夏期セミナー「和漢薬に触れる」, 和漢薬談義, 1997, 7, 大山町.
- 51) 柴原直利：瘀血病態の科学的解明—自律神経機能との関連について—. 第6回日中和漢薬シンポジウム, 1997, 8, 北京.
- 52) 柴原直利：冷え性の漢方治療. 第6回旭川医師漢方症例検討会, 1997, 8, 旭川.
- 53) 伊藤 隆：慢性関節リウマチの漢方治療. 骨と健康を考えるシンポジウム, 基調発言, 1997, 9, 富山.
- 54) 寺澤捷年：若さを保つ漢方. 医薬大祭市民講座, 1997, 10, 小杉町.
- 55) 後藤博三：循環器疾患—主に血管系に対する作用機序について—. 呉西地区漢方懇話会「わかりやすい和漢診療学 入門編」, 1997, 10, 高岡市.
- 56) 柴原直利：こんな時には漢方を—冷え性の漢方治療について—. いきいき健康セミナー, 1997, 11, 大山町.
- 57) 柴原直利：漢方と高血圧. 健康づくり地区栄養相談栄養士研修会, 1997, 12, 富山.